

解答

- 一 問一 1 イ 2 エ 3 ウ 4 ア
- 二 問二 エ
- 三 問三 C 芸術家 D 需要 E 創造性
- 四 問四 自分の思いを主体にしてつくりたいものをつくること。
- 五 問五 音楽の可能性を追求して実験的な試みを行う、一般の人の理解を得られにくいもの。
- 六 問六 ミニマルミュージックを初めて聴き、大きな衝撃を受けて、一気にのめり込んでいった体験。
- 七 問七 社会の一員
- 八 問八 くる〔ものは〕こばま〔ず〕
- 九 問九 ウ
- 十 問十 「自分のつくりたいものだけをつくらうとすると」人が理解できないものを生んだり、一つの作品を仕上げるのにひどく長い時間をかけたりして、採算や生産性を度外視することになり、つねに安定したいものをつくりつづけることができないから。
- 十一 問十一 次へまた次へとコンスタントにつづけられる
- 十二 問十二 一流とはハイレベルの力を毎回発揮できることであり、手腕ある指揮者が他の人に変わったらできない、つねに同じだけの集中力を保つことができない、となると、一流とは言えないから。

二

夏

問二

A オ

問三

1 エ 2 オ

問四

山のふもと。

問五

花だけでなく葉も次々と摘み、木の丈も葉を摘みよい高さに低くおさえ、七、八年から十年ほどで廃棄する、という行い。

問六

a 桜の葉の、ほのかなよい匂い。

問七

b 塩漬けされて大樽に詰められている桜の葉の量が膨大である。

問八

葉桜の畑

問九

桜が、花で人の目を楽しませてくれるだけではなく、木や葉もさまざまな形で土地に恵みをもたらし、人の役に立ってくれていることに感嘆し、ありがたく思う気持ち。

(B) (A) 三

1 査察

(A)

1 尊大

(B)

2 直視

(A)

2 老練

(B)

3 保障

(A)

3 高潔

(B)

4 識別

(A)

4 深刻

(B)

5 提言

(A)

6 折半